

ターンテーブルの運営状況について

1. 開業以降の施設運営状況

(1) 部門別の利用者数

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
レストラン	400	554	568	348	457	329	2,656
バル・マルシェ	1,027	1,361	1,226	1,186	1,109	884	6,793
ホステル	681	961	1,281	1,109	1,121	1,389	6,542（稼働率66%）
計	2,108	2,876	3,075	2,643	2,687	2,602	15,991

(2) イベントの参加者数

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
参加者(回数)	1,267(3)	250(3)	159(4)	213(8)	427(7)	173(5)	2,489(30)

2. 最近の具体的な事例

(1) 本県の認知度向上、施設のブランディング

- ・著名なフリージャーナリストが、「県名を前面に出さない」ユニークなコンセプトに注目し、「サンデー毎日」や「NHKラジオ(全国放送)」で詳細に紹介した
- ・「ヤフーニュース」で施設に関する記事が、一時、アクセスランキングで総合第1位となった
- ・高級ファッション誌の公式ウェブサイトで、施設シェフによる料理レシピの紹介が動画で配信された
- ・上質で話題性の高いレストランでのみ開催されていた、有名ワイン輸入会社主催の新作ワイン試飲会が開催された

(2) 県産品の販路拡大

- ・外資系高級ホテルや大手広告代理店の幹部が施設を利用し、施設コンセプトやデザイン、提供された料理と県産食材のクオリティを高く評価した
- ・施設での県産食材との出会いをきっかけに、都内の高級料理店が、県産の牛肉、養殖アユ、味噌などを仕入れ始め、継続的な取引につながった
- ・施設シェフが考案した県産「白味噌」を利用した味噌バターが飲食客に大変好評なことから、県内事業者と共同で商品化に向けて準備中
- ・県内の酒造組合と連携し、県内蔵元が日本酒を持ち寄り、「はも」など季節の県産食材による料理をつまみに、自慢の県産日本酒を紹介する「飲み比べイベント」を定期的開催予定

(3)「とくしま回帰」の推進, 県人の活躍の後押し

- ・海陽町が「食やサーフィン」などの魅力を発信する地元企業と連携した「移住促進交流イベント」を開催し, 多くの参加者が徳島での暮らしに関心を寄せた
- ・県出身ミュージシャン「佐藤タイジ」氏が, 10月に県内で主催する大規模ロックイベントへの送客に向けた告知イベントを開催し, ロックと阿波おどりのコラボレーションにより100名以上の参加者を大いに盛り上げた
- ・県内生産者が施設シェフとともに, 県産食材の魅力と価値を, 都内飲食店オーナーや流通業者に向けてアピールするPRイベントを開催予定
- ・県内の藍染めアーティストを講師に, 技法の一つ「しぼり染め」の「しぼり」を体験していただくワークショップを開催, 10月には参加者が染め上がりを披露し合う「お披露目会」を予定

3. 運営上の新たな取組み

- ・2階レストランの単品メニューを1階バルにて提供を開始
- ・店舗屋外での「週末マルシェ」を開催するなど, 近所や周辺オフィスの皆様の利用を拡大

4. ターンテーブルの平成29年度(2,3月)収支状況

総売上高①	22,679,009円
売上原価②	11,304,665円
売上総利益③ (①-②)	11,374,344円
人件費, 一般管理費等④	23,311,486円
経常利益⑤ (③-④)	△11,937,142円

5. 運営事業者の社名変更について

運営事業者「(株)DIY工務店」は, 平成30年6月5日付けで「(株)TurnTable」に社名変更